

## 道徳の時間で活用する ～友情、信頼～

岩国市立由宇小学校 吉松 ひとみ

### 1 本場面におけるポイント

- ねらいとする価値に気付かせるための支援として、挿絵を活用する。
- ペア学習だけでなく、グループでホワイトボードに考えをまとめる活動を通して、学び合い活動を深める。

### 2 授業の実際

1 主題名 みんななかよく 「資料名 およげないりすさん」

2 ねらい

友達の大切さを知り、仲よく生活しようとする心情を育てる。

3 展開

(1) 導入

教師：友達と一緒にいて、楽しいのはどんなときですか。

A児：一緒に遊んでいるとき。

B児：仲よく、協力しているとき。

C児：一緒に縄跳びをしているとき。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

学校の休み時間や日常生活で、友達と過ごしている場面を想起させることで、ねらいとする価値について考える方向付けをし、本主題や本資料の問題場面とのつながりを継続して意識できるようにする。



(2) 展開

教師：「りすさんは、およげないからだめ。」と言われて、りすさんはどんな気持ちだったでしょう。

A児：嫌だったと思います。

B児：さびしい気持ちになったと思います。

C児：いじわるだなと思ったと思います。

教師：島に着いて、すべり台やブランコで遊んでいるとき、3匹はどんな気持ちだったでしょう。

D児：遊んでいても、少しも楽しくないと思います。

教師：どうして、楽しみにしていた島に3匹で来て遊んでいるのに、少しも楽しくないのでしょうか。

E児：日頃遊んでいるりすさんがいないからです。

F児：りすさんも連れてきてあげたらよかったと思っているからです。

教師：でも、自分たちでりすさんに「だめ。」と断ったのですよね。

G児：りすさんは、しょんぼりして家に帰って、ひとりぼっちだからです。

H児：りすさんに「だめ。」って言ってしまったから、今頃、りすさんは家で泣いているかもしれないからです。

教師：みんなで島へ行っているとき、どんな気持ちだったでしょう。

I 児：（ペープサートを動かしながら）ありがとう。最初は断られて悲しかったけど、連れて行ってくれて、うれしいよ。

J 児：（ペープサートを動かしながら）りすくん、昨日はごめんね。はじめから連れてきてあげたらよかったよ。



□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

3匹で遊んでいても少しも楽しくない理由を問い、泳げないりすさんを連れて行かなかったという後悔の気持ちを押さえることで、後半の4匹で島に遊びに行くときの気持ちを具体的に考えることができるようにした。

ワークシートに自分の考えを記入した後、ペアで読み合ったり、4人の班でワークシートと同じホワイトボードにまとめたりすることで、学び合いが深まるように仕組んだ。発表は、ペープサートを使用し、登場人物になりきって話せるような場を工夫した。

(3) 終末

教師：今日のお話に出てきた動物に、お手紙を書きましょう。

全員：（ワークシートに記入する。できた児童は、互いの席で読み合う。）

K 児：かめさん、りすさんを背中にのせて重かったでしょ。でも、かめさんってやさしいんだね。私もかめさんみたいにやさしくなりたいです。かめさん、やさしくする魔法を教えてね。

L 児：りすさん、ぼくもいじわるされることもあるから、気持ちはよく分かるよ！でも、最後にいいことがあってよかったね。いいお友達で、よかったね。



□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

登場人物の中から手紙を書きたい動物を選ぶことにより、自分の考えを素直に表出できるようにした。また、その際、「わたしも〇〇のように」というキーワードを入れておくことで、自分のこれからの生活や友達関係につなぐことができるように工夫した。

### 3 実践を振り返って



1年生の児童は、資料のお話の世界に入り込んで、自分も登場人物の一員となり、豊かに気持ちを想像したり、自分と比べたりすることができるよさがある。本資料の「およげないりすさん」は、相手の気持ちを豊かに考えたり、自分の友達関係を振り返ったりするのに適した資料である。

ワークシートに登場人物の気持ちを書くことで、自分の考えをまとめたり、友達と伝え合ったりすることができる。また、グループでの関わりをより深めるために、ホワイトボードを活用することで、真

剣にワークシートの内容を読み合う姿が見受けられた。発表の方法も、ペープサートを用いることで、動きをつけて発表したり、アドリブが出たりと、友達との関わり合いを楽しみながら活動することができた。終末は、登場人物に手紙を書くことで、自分の体験を振り返ったり、今後の態度を考えたりすることができた。

今後は、「わたしたちの道徳」のP76「友達と仲よくして楽しかったことやうれしかったこと」を記述し、家庭に持ち帰らせたり、教室に掲示したりして、本時で学んだ道徳的価値が繋がっていくように工夫していきたい。